



平成23年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成23年1月13日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション
コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

TEL 052-611-6350

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	3,728	32.7	56	90.8	44	92.3	19	94.3
22年2月期第3四半期	5,546		620		590		345	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	323.52	
22年2月期第3四半期	5,776.49	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	6,971	4,643	66.6	77,565.81
22年2月期	6,793	4,711	69.3	78,703.42

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 4,643百万円 22年2月期 4,711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期		0.00		1,200.00	1,200.00
23年2月期		0.00			
23年2月期(予想)				400.00	400.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	28.4	162	76.6	150	76.9	84	77.6	1,412.67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期3Q 59,863株 22年2月期 58,963株

期末自己株式数 23年2月期3Q 株 22年2月期 株

期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期3Q 59,863株 22年2月期3Q 59,863株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ「1.当四半期の業績等に関する定性的情報」(3)業績予想に関する定性的情報を参照ください。

また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部には企業収益の改善が見られたものの、急激な円高の進行や株安、経済対策効果の息切れ等に加えユーロ圏の信用不安が足かせとなる中、企業設備投資や個人消費は依然として冷え込んでおり、雇用環境や・所得環境も依然として低迷が続いている等、厳しい経済状況が続きました。

このような経済情勢下ではありますが、環境問題に対する意識はますます高まっており、温室効果ガス削減への取り組みをはじめ、環境保全に対する企業の社会的責任がますます重視されております。そのような流れの中で「土壤汚染対策法」も平成22年4月1日に大幅改正され、土壤汚染対策に対する規制が強化されております。

しかしながら土壤汚染対策市場においては、4月1日よりスタートした「改正土壤汚染対策法」に対する対応についてやや混乱した状況が続いております。中期的には改正法による規制強化の効果が浸透し、不動産市況や設備投資需要の持ち直しとともに土壤汚染対策市場も回復に向かうと思われませんが、当第3四半期会計期間においてもそのような回復兆候はまだ見られませんでした。

そのような状況の中、積極的な受注活動を展開する一方、外注費の価格見直し等、広範囲にわたる原価低減を進めてまいりましたが、不動産市況・設備投資動向の低迷が続いたことにより案件が大幅に減少していること及び、案件減少に伴う受注競争の激化と、改正法による規制強化の効果が未だ不十分であることの影響で想定以上に受注価格が下落していること等により、業績は第2四半期累計期間同様大変厳しい状況となりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,728百万円（前年同期比32.7%減）となり、また、広範囲にわたる原価低減を図ってまいりましたが、売上高の減少による固定費比率の上昇を補うまでには至らず、経常利益は44百万円（同92.3%減）、四半期純利益は19（同94.3%減）百万円となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[土壤汚染調査・処理部門]

不透明な経済状況の中、不動産の再開発計画や、製造業の設備投資計画は、凍結又は延期等の決定を余儀なくされるケースが相次ぎ、土壤汚染市場も大きな影響を受けております。このような環境下におきまして、当社は、土壤処理体制を充実させることにより、競争力の強化を図るとともに、グループ会社間の連携の強化により、情報収集に努め、新たな需要の開拓に注力してまいりましたが、全般的な景気後退の影響を受けた結果、売上高は3,603百万円（同33.3%減）となりました。

[リサイクル部門]

廃蛍光灯の中間処理、廃乾電池、廃バッテリー等の収集運搬を行い、水銀等のリサイクルを進めております。当第3四半期会計期間は廃バッテリーの収集運搬が好調であったため、売上高は68百万円（同5.0%増）となりました。

[環境分析部門]

主に、産業廃棄物及び土壌の分析を行っております。分析業務の多くは土壤汚染調査に関するものであり、土壤汚染調査・処理部門への内部売上となるため、当部門の売上には含めておりません。当第2四半期会計期間は産業廃棄物の分析が低迷したため、売上高は34百万円（同29.0%減）となりました。

[その他]

主に賃貸マンションの経営を行っておりますが、この他にその他商品の売上が減少したことにより、当部門の売上高は21百万円（同30.3%減）となりました。

部門区分	売上高(千円)	前年同期比(%)	構成比(%)
土壤汚染調査・処理部門	3,603,806	66.6	96.6
リサイクル部門	68,881	105.0	1.8
環境分析部門	34,382	70.9	0.9
その他	21,751	69.6	0.5

(2) 財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債及び純資産

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は1,852百万円となり、前事業年度末に比べ198百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の減少206百万円、売掛金の増加299百万円及び、未収入金128百万円の増加であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は5,119百万円となり、前事業年度末に比べ19百万円の減少となりました。主な要因は、株式会社グリーンアローズ中部に対する設備の売却に伴う機械及び装置の減少109百万円、当期減価償却費229百万円、名古屋リサイクルセンターの設備更新による機械装置の増加45百万円、構築物の増加32百万円、投資有価証券の取得による増加62百万円及び株式会社グリーンアローズ中部に対する貸付の実施に伴う長期貸付金の増加119百万円であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,843百万円となり、前事業年度末に比べ363百万円の増加となりました。主な要因は、短期借入金の増加325百万円及び、買掛金の増加158百万円、約定返済に伴う一年内返済予定の長期借入金の減少81百万円及び、未払法人税等の減少56百万円であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は485百万円となり、前事業年度末に比べ117百万円の減少となりました。主な要因は、約定返済に伴う長期借入金の減少127百万円であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は4,643百万円となり、前事業年度末に比べ68百万円の減少となりました。主な要因は剰余金の配当による支出71百万円であります。

2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保資金の充実を大前提としつつ、事業の安定的拡大に必要な投資を実行してまいりました。

その結果、現金及び現金同等物の当第3四半期累計期間末残高は376百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に減価償却費229百万円、仕入債務の増加153百万円等があったものの、売上債権の増加267百万円、法人税等の支払額205百万円等により総額で37百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の売却による収入83百万円があったものの、貸付による支出151百万円、投資有価証券の取得による支出88百万円等により総額で213百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入の返済による支出209百万円、配当金の支払額71百万円があったものの、短期借入金の純増額325百万円等により総額で44百万円の収入となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の業績予想につきましては、平成22年9月17日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	376,250	582,356
受取手形及び売掛金	1,184,194	898,488
たな卸資産	70,960	94,065
その他	220,754	79,103
流動資産合計	1,852,160	1,654,013
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,049,499	1,124,492
土地	2,743,504	2,743,504
その他(純額)	724,287	869,192
有形固定資産合計	4,517,291	4,737,189
無形固定資産	13,501	10,012
投資その他の資産	588,847	392,280
固定資産合計	5,119,640	5,139,483
資産合計	6,971,801	6,793,496
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	497,131	359,718
短期借入金	1,120,148	876,938
未払法人税等	-	72,294
引当金	3,984	26,043
その他	222,028	144,866
流動負債合計	1,843,292	1,479,860
固定負債		
長期借入金	395,649	523,260
引当金	87,269	76,684
その他	2,268	2,268
固定負債合計	485,186	602,212
負債合計	2,328,479	2,082,073

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,446,921	1,446,921
資本剰余金	1,242,433	1,242,433
利益剰余金	1,969,600	2,022,068
株主資本合計	4,658,954	4,711,423
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,632	-
評価・換算差額等合計	15,632	-
純資産合計	4,643,322	4,711,423
負債純資産合計	6,971,801	6,793,496

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	5,546,208	3,728,822
売上原価	4,462,723	3,214,273
売上総利益	1,083,485	514,549
販売費及び一般管理費	463,472	457,710
営業利益	620,013	56,838
営業外収益		
受取利息	19	795
受取配当金	850	850
受取地代家賃	6,179	6,836
設備賃貸料	9,409	-
その他	278	3,139
営業外収益合計	16,737	11,621
営業外費用		
支払利息	11,147	7,501
固定資産賃貸費用	34,032	15,989
その他	805	9
営業外費用合計	45,984	23,500
経常利益	590,766	44,959
特別利益		
固定資産売却益	298	-
特別利益合計	298	-
特別損失		
固定資産除却損	-	4,622
特別損失合計	-	4,622
税引前四半期純利益	591,064	40,337
法人税、住民税及び事業税	264,172	33,807
法人税等調整額	18,906	12,837
法人税等合計	245,266	20,970
四半期純利益	345,798	19,367

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	2,550,109	1,417,102
売上原価	2,038,276	1,231,389
売上総利益	511,832	185,712
販売費及び一般管理費	164,050	155,931
営業利益	347,782	29,780
営業外収益		
受取利息	4	371
受取地代家賃	2,194	2,285
設備賃貸料	4,069	-
その他	19	595
営業外収益合計	6,287	3,252
営業外費用		
支払利息	3,772	2,350
固定資産賃貸費用	11,941	6,379
その他	206	-
営業外費用合計	15,920	8,730
経常利益	338,150	24,302
特別利益		
固定資産売却益	298	-
特別利益合計	298	-
特別損失		
固定資産除却損	-	4,290
特別損失合計	-	4,290
税引前四半期純利益	338,448	20,012
法人税、住民税及び事業税	155,469	14,599
法人税等調整額	15,656	5,869
法人税等合計	139,812	8,729
四半期純利益	198,635	11,282

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	591,064	40,337
減価償却費	257,653	229,919
賞与引当金の増減額(は減少)	20,198	22,059
退職給付引当金の増減額(は減少)	10,710	3,823
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,906	4,858
受取利息及び受取配当金	869	1,645
支払利息	11,147	7,501
有形固定資産売却損益(は益)	298	-
有形固定資産除却損	-	4,622
売上債権の増減額(は増加)	15,654	267,166
たな卸資産の増減額(は増加)	424,086	23,104
仕入債務の増減額(は減少)	271,414	153,881
その他	38,687	2,126
小計	1,030,820	175,050
利息及び配当金の受取額	863	1,645
利息の支払額	11,132	7,730
法人税等の支払額	439,819	206,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	580,731	37,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	318,933	49,831
有形固定資産の売却による収入	7,329	83,622
投資有価証券の取得による支出	100,000	88,444
関係会社株式の取得による支出	45,600	-
貸付けによる支出	-	151,400
貸付金の回収による収入	261	4,161
その他	6,258	11,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	463,200	213,216
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	250,000	325,000
長期借入れによる収入	200,000	-
長期借入金の返済による支出	311,605	209,401
配当金の支払額	72,697	71,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	434,302	44,327
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	316,771	206,106
現金及び現金同等物の期首残高	580,830	582,356
現金及び現金同等物の四半期末残高	264,059	376,250

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

該当事項はありません。